

テーマ別パスファインダー



日本語を教える

(日本語教育能力検定試験 対策編)



✧ パスファインダーとは？

Pathfinder (パスファインダー) とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2014年11月14日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングコモンズ るくす | TAチーム

I. イントロダクション

◀ 日本語を教える とは？

パスファインダー「日本語を教える」では、日本語教育学（日本語非母語話者に対する日本語教授についての研究）および日本語教育に関する図書等を紹介しています。日本語教育学では、日本語教育文法、教授法、シラバス／カリキュラムデザイン、言語政策といった幅広い研究が行われています。このパスファインダーでは、日本語教師の資格試験である「日本語教育能力検定試験」の対策に使える図書を紹介します。

関係分野：日本語学、教育学、言語学、第二言語教育、第二言語習得研究、社会言語学、音声学[他]

II. 試験を知る

➤「日本語教育能力検定試験」は、日本語教育を行う専門家として基礎的水準に達しているかを検定する試験であり、公益財団法人日本国際教育支援協会が主催している。

公益財団法人日本国際教育支援協会ホームページ：<http://www.jees.or.jp/index.htm>（アクセス日：2014/11/7）

◀ 日本国際教育支援協会(2014)『日本語教育能力検定試験試験問題』凡人社

試験対策は「過去問」なしには始まらない。どんな問題が出るのかを知り、自分の弱い分野を見極めるという意識を持って、まずはひととおり解いてみることから始めるのがお勧め。複数年度分手に入れられるとなお良し。平成25年度：【外カウンター | 810.7/512/H25】

◀ 高見澤孟(2004)『新・はじめての日本語教育 基本用語事典』アスク出版

過去問を解いて分からない用語があったら、まずはこの用語事典で調べ、知識を補っておくのが合格への第一歩。ここに載っていない最新の情報（統計データなど）は、インターネットで手に入れて対策を。

【外2F開架 | 810.7/195/新】

III. 出題分野に強くなる

➤過去問を解いて自分の弱い分野が分かったら、その分野についての知識を深めていきます。

【 】内に分野を示します。試験対策を機に日本語教師として必要な知識をつけてしまいましょう。

ひとつずつ勉強している時間がない！という場合は、「IV. 総仕上げ」の一冊目をご覧ください。

【第二言語習得】

◀ 小柳かおる(2004)『日本語教師のための新しい言語習得概論』スリーエーネットワーク

第二言語習得理論の変遷から、第二言語の発達過程、第二言語習得に影響を及ぼす要因に至るまで、幅広く書かれている。言語習得の原点である第一言語習得についても詳しい。【外2F開架 810.7/314】

【文法】

◀ 庵功雄(2001)『新しい日本語学入門 ことばのしくみを考える』スリーエーネットワーク

これを一冊読めば、日本語文法についての基礎知識が網羅できる。試験対策中、分からないことがあったら辞書的に活用することも可能。【外2F開架 | 810.1/76】

【異文化理解】【社会言語学】【言語学】【日本語教育史】【教授法】【音声】

◀ 『日本語教育能力検定試験に合格するためのシリーズ』アルク

初心者でも、これを一冊読めば基礎知識が身につくシリーズ。各章の終わりには練習問題がついている。純粋な勉強にも役立てられる。以下に、上記の分野に対応した書誌情報を挙げる。

鈴木伸子（2007）『日本語教育能力検定試験に合格するための異文化理解 13』【外国語学部留学生学習支援室 | 810.7/522/[1]】

岡本佐智子（2008）『日本語教育能力検定試験に合格するための社会言語学 10』【総 A 棟 3F 留学生用 | 810.7/OKA】

定延利之（2009）『日本語教育能力検定試験に合格するための言語学 22』【総 A 棟 3/4F 学習用 | 810.7/NIH】

真田信治（2009）『日本語教育能力検定試験に合格するための日本語の歴史 30』【総 A 棟 3/4F 学習用 | 810.7/NIH】

小林ミナ（2010）『日本語教育能力検定試験に合格するための教授法 37』【外国語学部留学生学習支援室 | 810.7/522/[10]】

松崎寛，河野俊之（2010）『日本語教育能力検定試験に合格するための音声 23』【総 A 棟 3/4F 学習用 | 810.7/NIH】

IV. 総仕上げ

➤各分野の対策が終わったら、残るは「記述問題対策」です。

試験までに時間があるようならぜひ「総合演習」を。過去問をもう一度解いてみていいでしょう。

◀ ヒューマンアカデミー（2011）『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド：日本語教育能力検定試験学習書』ヒューマンアカデミー

記述問題の回答の具体的なコツが、回答例に添削を入れる形で示されている。

お急ぎの時に！：出題分野を網羅的に勉強できる一冊ともなっており、試験対策にあまり時間が取れない人はとにかくこれを勉強し尽くすのもあり。ただし、練習問題が少ないので、過去問などとの併用を推奨。

【総 A 棟 3/4F 学習用 | 810.7/HYU】

◀ 星野恵子（2006）『日本語教育能力検定試験に合格するための記述式問題 50』アルク

旧試験（2010 年まで）の出題形式での記述問題対策本だが、記述問題を考える力を養う上ではまだまだ使える一冊。【外国語学部留学生学習支援室 | 810.7/418】

参考)新試験対応版：

星野恵子（2014）『改訂版 日本語教育能力検定試験に合格するための記述式問題 40』アルク

◀ アークアカデミー（2012）『新合格水準日本語教育能力検定試験問題集』アークアカデミー

用語の確認ができる 1st Step、基礎的な問題が用意された 2nd Step、実践的・応用的な問題が用意された 3rd Step という三部構成。【外国語学部留学生学習支援室 | 810.7/641】

◀ ヒューマンアカデミー（2012）『日本語教育能力検定試験合格問題集』ヒューマンアカデミー

各分野の問題演習と模擬試験という二部構成。とにかく問題演習をしたい時に！【外国語学部留学生学習支援室 | 810.7/659/[2]】

[図書/論文の検索]

論文や Pathfinder に掲載されている図書等を検索するには

【図書・ジャーナル】

- ・外国学図書館各階にある検索端末を利用するか、るくす内の PC を利用して検索してください。
- ・その際は、書名や出版年、出版社、著者名、ISBN、ISSN 等を OPAC 検索に打ち込んでください。

【電子ジャーナル】

- ・電子ジャーナルの種別によって学内・学外からのアクセスが異なりますので、注意してください。
- ・多くの場合は「附属図書館 HP」→「電子ジャーナル」で検索できます。見つからない場合はメインカウンター／TA カウンターまでお問い合わせください。

[パスファインダーの凡例]

◀ 図書名はすべて以下の順に表記されています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

◀ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と請求記号を記しました。

総→総合図書館

生→生命科学図書館

理工→理工学図書館

外→外国学図書館

電→電子ジャーナル

Web→Web ページ

◀ 外国学図書館を中心としていますので、これ以外の場所でも貸し出し可能な場合があります。
予約や取り寄せ等は、OPAC を参照するか、メインカウンター/TA デスクまでご相談ください。

◀ 検索や購入のために

ISBN : 各図書固有の識別番号。検索や購入に。

ISSN : 各雑誌固有の識別番号。検索に。

を記してある場合もあります。